

# お互いさま

otagaaisama

恵みあい、助けあう

理事長より  
新年のご挨拶

クローズアップ

地域総合支援室

地域との真の「互恵互助」の関係をつくる

キラキラ働き人

地域づくりの一翼を  
担っていきます

経営企画部 部長 足立敬史さん

New Year greetings

# 新年のご挨拶

2022



変化の波が押し寄せた2021年。こうほうえんもより強く、しなやかな組織づくりに挑戦してきました。新たな年を迎えるにあたり、廣江晃理事長より職員、ご利用者様、そして地域の皆様へご挨拶申し上げます。

社会福祉法人こうほうえん  
理事長 廣江 晃

二〇二二年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べ、ご挨拶に代えさせていただきます。旧年中は、新型コロナウイルスの感染拡大が世界中で続き、宿泊・飲食業をはじめとする多くの産業が影響を受けました。感染症は、どんなに注意をしても感染力が強い場合は如何ともし難い性質を持つものです。それでも出来る限りの努力を法人挙げて行なった結果、最小限の被害に収まったと思っております。また、感染拡大の状況に置いて、ご入居者へのご家族の面会制限に協力頂いたことについて感謝申し上げます。

今回のコロナウイルス感染は、今後の社会保障において様々な影響を引き起こすと考えられます。例えば、日本が世界と比較して優れた仕組みを持っていたと考えられていた医療体制をどう再編成するのかわという問題があります。先進国でも医療崩壊が起きていますが、日本の場合、患者数が他国と比較して少ない段階でキャパシティーがなくなることに対応していくのか一部の医療機関のスタッフのみが過重労働になる仕組みの改善をどのようにするのか、保健所の機能と能力をどのように適正化していくかなど様々な課題が見受けられます。また、介護現場においても、事前に感染症に対するBCP(事業継続計画)を作成していたところは少なかったと思われる。今回の件を教訓として、法人の中しっかりとした備えを持つことがとても重要になります。

感染症の流行は、マイナス面ばかりではありません。例えばウェブ会議を始めとする様々なテクノロジーが一気に普及しました。今後、その傾向は一段と加速していくと思われれます。一般の企業と比較して我々社会福祉法人は、まだまだICT化が進んでいるとは言えない組織ですが今後はそういった分野にも注力していきたいと思えます。

結びに本年が皆様方におかれまして良い一年であることを心より祈念いたします。

お話を聞いた人

**田山泰久さん**  
地域総合支援室室長。「いつでも・どこでも・誰でも」をモットーに支援を必要としている人のもとへ駆けつけている。

## 地域との

## 真の「互惠互助」の

## 関係をつくる



くさんの「困った」に触れ、その都度必要とするものが加わっていった形です」と田山泰久室長は語ります。

### ネットワークづくりからスタート

今でこそ支援や講演、行政との協議などで県内外を飛び回る田山さんですが、支援室の設置当初は手探りの状態でした。田山さん自身は視覚障がい者の人に歩行訓練などの自立支援を行う歩行訓練士の資格を持っています。こうした支援事業や相談事業に関しては未経験だったからです。

そこで最初に取り組んだのが、福祉の専門家など人のネットワークの構築でした。紹介された県内の専門家を訪

ね歩いてつながりを築き、助言を得たり、シンポジウムを開催したりと積極的に活動してきました。その中で、地域社会のさまざまな「困った」や「助けて」を知っていくことになりました。触法者やひきこもりの家族会や自助グループ、支援グループなどにも積極的に参加し、さらにそこから新たな専門家のつながりも生まれました。「地域の皆様がこうほうえんに何を求め、助けてほしいかを汲み取り、いかに対応していくか。支援室は私ひとりの部署ですが、その分私のやりたいこと、信じることを突き詰めさせてもらえました」と田山さんはこれまでを振り返ります。

**次世代に広がる「互惠互助」**  
田山さんはこれまで「困った」という声を拾っては、県内各地に駆けつけてきました。田山さんが考える自立とは「税金を払える人になる」です。相談や支援の内容はさまざまですが、一人ひとりに寄り添う伴走型支援を基本に、それぞれのゴールを設定し、必要な支援を提案したり、専門家や他の支援者と協力して多方面からサポートをしたりして、ゴールに向けて共に歩んでいます。

点も支援室の特徴です。例えば、さかい幸朋苑から始まった小中高校生への学習支援は、現在は地域の中で活動しています。学習支援のねらいは、貧困による教育格差を是正し、さらにその先にある不登校やひきこもりを防ぐことです。大学生を支援スタッフとしては配置していますが、元スタッフの中には学習支援を事業としてスタートさせた人もいて、「互惠互助」の精神は次世代にも受け継がれています。田山さんは「頼るべきところはお互いに頼っているんです。私たちも地域に頼りますし、皆さんも私たちを頼ってほしい」と地域に呼びかけています。



視覚障がい者支援の様子



島根大学教育学部学生に「学習支援」プログラムを説明



障がい者雇用知事表彰



鹿児島県の社会福祉法人にて、全職員を対象にした研修会で講演(2017年)

### 業務内容

## 地域総合支援室の業務内容

- 総合相談
  - 訪問支援(アウトリーチ)による伴走型支援を基軸に、重層的な支援ネットワークを構築しながら「いつでも」「どこでも」「だれからでも」お話を聞かせていただくこと
- 総合支援
  - ①就労支援: 障害の有無や所属にかかわらず支援
  - ②学習支援: 学習機会の提供と非認知能力向上をめざす支援
  - ③生活支援: 生活上生じる課題の支援
  - ④触法者支援: 刑余者・保護観察者の社会復帰のための支援
  - ⑤ひきこもり支援: 社会復帰およびご家族への支援
  - ⑥移住定住支援: 生活に必要なあらゆる支援
  - ⑦犯罪被害者支援: 本人保護並びに社会生活の確立
  - ⑧視覚障がい者支援: 歩行訓練並びに同行援護者の養成
  - ⑨居住支援(住まいに関わるあらゆる支援)法人事業
  - ⑩SDGs支援
  - ⑪音楽療法支援

### 11の総合支援と、総合相談を実施

こうほうえんは1987年の設立以来、「地域に開かれた、地域に愛される、地域に信頼される『こうほうえん』を目指します」という理念のもと高齢者福祉を中心に、保育サービス、障がい者福祉サービスなど、地域に根差したサービスを提供してきました。その中で「互惠互助」の精神のもと、より地域貢献活動を専門に行う地域貢献事業として2014年4月にスタートしたのが「地域総合支援室」です。こうほうえんからの拠出と、地域の皆様のご寄付によって支えられながら、現在は総

合相談と11の総合支援に取り組んでいます。

地域貢献事業には①セーフティネットの構築、②地域包括ケアによる総合支援事業、③福祉に関する総合相談事業の大きく3つの取り組みがあります。①は地域包括ケアの実現とセーフティネットの構築のための基金の創設、介護職員の道を開く介護員養成研修の実施があり、そして②と③が支援室の業務そのものになります。「現在、11の総合支援を掲げていますが、当初は障がい者の就労支援からスタートしました。多くの人との出会いの中でた

## 各エリアの運営を支援する 法人本部

法人本部は経営企画部、研修人財部、総務部の3部門からなり、経営企画部は企画や広報、研修人財部は研修カリキュラムや採用、安全衛生、総務部は会計や経理を担当。本部の各自の机からオンライン会議ができる環境を整えています。各エリアの運営管理はエリアの総合施設長が行い、その支援を法人本部が担います。



オンライン会議の様子



法人本部



法人本部のある  
アザレアコートこうほうえん

## 地域づくりの一翼を 担っていきます

☆☆☆  
キラキラ/  
働き人

☆☆☆

あだち よしふみ  
足立敬史さん

1989年入職。介護の現場で8年経験を積んだ後、よなご幸朋苑の相談員に就任。同施設長代理を経て、なんぶ幸朋苑でケアハウス施設長兼次長を7年務める。2020年7月、法人本部経営企画部部長に就任する。

### ICT推進で業務を省力化

法人本部経営企画部は当法人の各エリアの運営を担う部署であり、ICT化の推進や広報などを行っています。ICT化では、主に職員たちの労力・業務の省力化や生産性の向上を目指すものと、在宅療養の方やご利用者様に使用していただくことを目的とするものがあります。例えば、職員の会議や研修、またご利用者様への面会のオンライン化を整備し、今後はさらに勤怠管理のICT化にも段階的に取り組んでいきます。

新型コロナウイルス感染症拡大により、当法人も多くの対応に迫られました。しかしそれをマイナスととらえず、変化を前向きに活用していく姿勢を打ち出しています。今年度のスローガン「レジリエンスで元気な職場 感性磨くアウトカム変化を楽しむ new life」は、withコロナ時代に柔軟な対応ができる職場をめざしていこうというもので、ICT化の推進はまさにそのひとつです。

### 業務を標準化・共有化できる体制づくり

また職員たちの仕事の標準化・共有化にも取り組んでいます。今は前段階として、各部署の主任以上の業務内容や量を確認し、仕事にかたよりがないか聞

### 持続可能性のための取り組み

私たちの強みは、あたりまえの品質を徹底している点にあると考えています。地域づくりの再構築を目標に掲げ、そのために強くしなやかな組織づくりと財政基盤の充実を行い、さらに地域に発信して周知していくことで、持続可能性を高めていきたいと思っています。

「こうほうえんが地域づくりの一翼を担い、誰もが使いやすいサービスの地域にしていきたい」。この思いを職員全体で共有し、私たちの強みを地域の中で機能させることを今後3年間でめざしていきます。その第一歩として来年度目指すのが「健康経営」です。それぞれの業務を整理してワークライフバランスを整え、心身の健康を叶えていくことは私たちの使命であり、それが持続可能性へとつながります。これまでも取り組んできたことではありますが、改めて経済産業省の健康経営優良法人の認証を取得したいと考えています。

### 「働きたい」と言われる業界にしたい

経営企画部では当法人の取り組み、ひいては介護業界のことをもっと知ってもらいたいと広報にも力を入れていきます。報道などではマイナスなイメージを



き取り調査を行っています。私たちはこれを「業務の棚卸」と呼んでいるのですが、担当者しかその仕事を把握していない状態はリスクが大きいため、サブの人がいる体制をつくり、仕事のかたよりを平均化していくことを目指しています。

これは介護業界全体の傾向として言えるのですが、これまでは個人の能力に頼ることが多かったのですが、これからは標準化された体制が必要だと私たちは認識しています。介護現場の仕事であっても、技術やノウハウを共有することで標準化ができますし、その他の仕事に関しても共有していくことが大切です。特にSDGsの推進という世界的な動きの中で、「事業の継続性」という観点からも、その必要性を感じています。



発信されがちですが、誇れる仕事、やりがいのある仕事であることや、ICTを導入して省力化に取り組んでいることを知ってもらい、みんなが「働きたい」と思えるような業界にしていきたいのです。

経営企画部に配属されて1年。私自身も現場の出身ですから、現場と本部につながりを持たせ、皆さんが働きやすい職場にできればうれしいです。介護は人相手の仕事ですから、職員同士もつながって働くことが大切です。その上で目指すのは「こうほうえんがあつて良かった」と地域の方に言ってもらえること。職員一丸となって改めて努力を惜しまず、強い組織にしていきたいです。

## 「ヘルスケアタウンむかいほら」にレストランがリニューアル!

食事や学びの場の提供、子ども食堂や音楽会の開催を通して、多様な人と人が繋がる、地域の交流スペースを運営していきたいと、2021年10月に「ななテラス」をリニューアルオープンしました。

レストランでは、日替わりななごはん、週替わりごはんをはじめ、ハンバーグプレートや牛すじカレー、キーマカレーなどを提供しています。

学びやイベントでは、誰もが参加できる「体操教室」や子育てを地域でシェアするための「子ども食堂」、地域の音楽好きが演奏を披露する「街角コンサート」などを開催していく予定です。地域の人た

ちの、「これをやってみよう!」「こんなことがあったらいいのになあ」を実現していける場にしていき、赤ちゃんから高齢者まで3世代に渡って、国籍や障がいを超えて集える拠点を目指していきます。

また、「ななテラス」は就労継続支援B型で運営しています。

効率性や売上だけにとらわれることなく、多種多様な人たちが、地域の役に立っているという実感や生きがいをもちながら、共に働ける拠点にしていきたいと思っています。是非一度、「ななテラス」に遊びにいらしてください。お待ちしております!!

レストラン&地域交流スペース「ななテラス」 住所:板橋区向原3-7-7 TEL:03-5926-7945



人気のハンバーグプレート



「ななテラス」スタッフ

### 寄附者 一覧

※令和3年9~11月にご寄付をいただいた皆さま

心温まるご寄付を賜り、深くお礼申し上げます。

皆様から賜ったご寄付は、ご厚志に沿い「地域貢献事業」として使わせていただいております。

- 石田自動車商会…代表取締役 石田和弘様 ● 服岡俊明様 ほか10名

寄付金合計額:2,639,000円

#### <北東京エリア>

- 木彫りの絵(26枚)…風見一郎様 ● 子ども衣類…キッズタウン東十条保護者様 ● 職員…キッズタウン東十条保護者様
- 泥除けマット(1枚)…岩淵保育園 令和2年度卒園児保護者一同様 ● 足ふきマット(3枚)…長谷川久子様

### ボランティア 一覧

※令和3年9~11月にボランティアにご参加いただいた皆さま

貴重な時間をいただき、厚くお礼申し上げます。

#### <さかいエリア>

- 書道…植田建造様

#### <よなごエリア>

- ピアノとフルート演奏…ご家族と知人の方(2名)

#### <なんぶエリア>

- 生活援助、レク補助…尾原様 ● 習字…石田様
- 外出援助…尾原様、勝部様、仲田様、梅木様、乗田様、石田様
- 脳トレ・レク、読み語り…秋鹿様

#### <北東京エリア>

- 星美学園短期大学 中野葉月様 ● 東京家政大学 森田様 ● 学生10名

#### <西東京エリア>

- 保育補助…豊南高等学校3名 ● 植栽活動…30名 ● 絵本・紙芝居の読み聞かせ…6名
- 傾聴、歌…2名 ● かけはしまつり…20名 ● 傾聴、歌、かけはしまつり…6名

#### <南東京エリア>

- フラワーアレンジメント…アトリエ金木犀 小暮様/ほか1名 ● ピアノ演奏会…臼井様
- 5歳児クラス(小学校の生活を紹介)…第五砂町小学校 足立様 ● 傾聴、話相手…福永様



### 法人本部事務局

〒683-0853  
鳥取県米子市両三柳1400  
TEL:0859-24-3111 FAX:0859-24-3113  
フリーダイヤル:0120-418-658  
E-mail:welfare@kohoen.jp

### 東京事業本部

〒169-0075  
東京都新宿区高田馬場4-3-7KSビル203号室  
TEL:03-3365-1331 FAX:03-3365-1339



こうほうえんは  
ISO9001-2015  
(品質マネジメントシステムの国際規格)を  
認証取得しています



こうほうえんは  
社会福祉法人として初めて  
おもてなし経営企業に選定されました



こうほうえんは  
社会福祉法人として初めて  
ハイサービス日本300選に選定されました

詳しくはHPへ



こうほうえん 検索  
<https://www.kohoen.jp>